

## 6-16 九州地方の地殻変動

### Crustal Movements in the Kyushu District

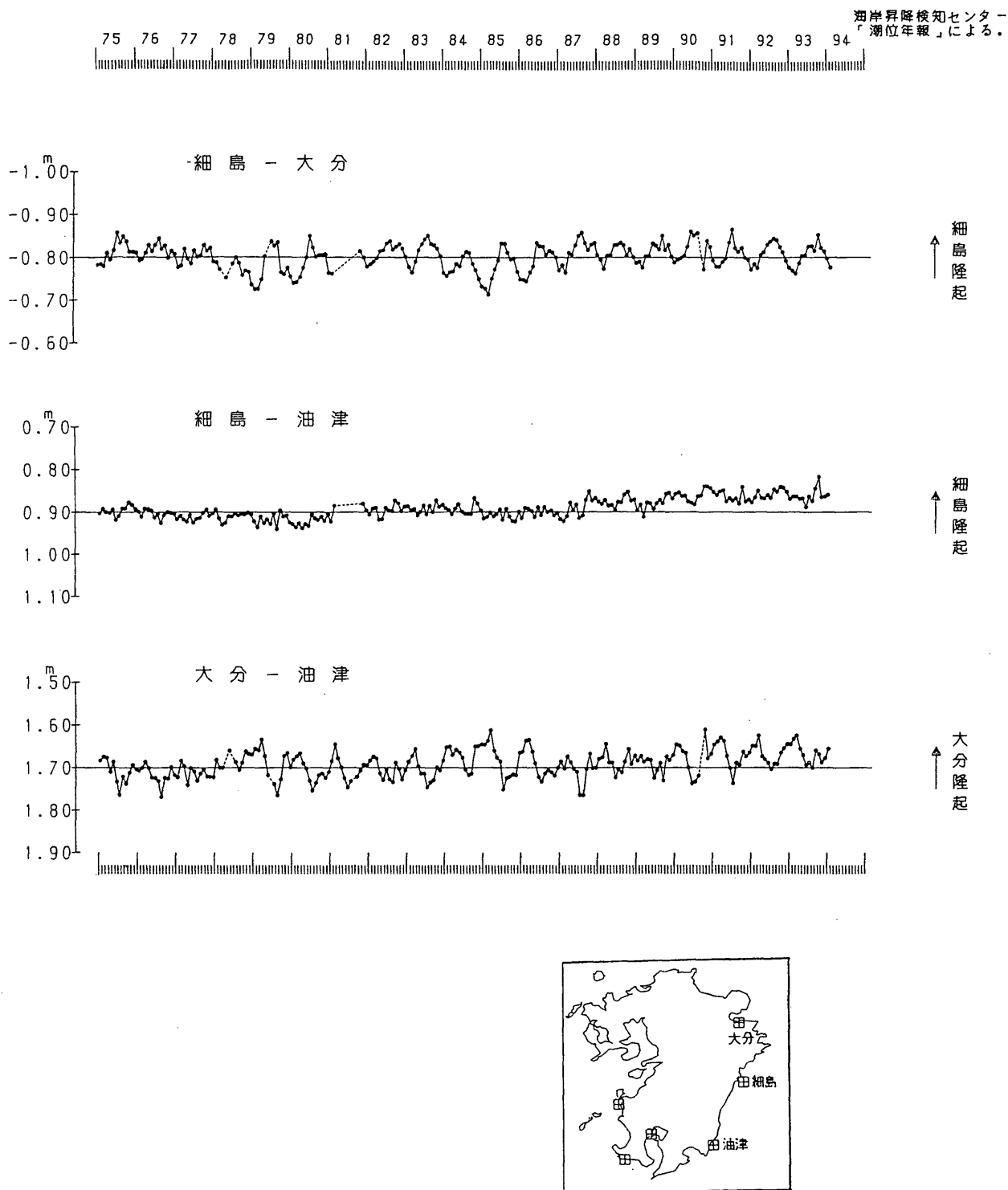
国土地理院  
Geographical Survey Institute

第1図は、細島・大分・油津各験潮場間の月平均潮位差である。1987年にステップ状の隆起が細島に認められるほか、目立った変化はない。1987年のステップは3月18日のM6.6の日向灘の地震の影響とも考えられる。第2図は、鹿児島と阿久根・枕崎・油津験潮場間の月平均潮位差である。桜島の火山活動に伴う鹿児島の沈降が顕著である。第3図は、島原半島周辺の験潮場間の月平均潮位差である。口之津が1987年頃から隆起傾向にある。

第4～5図は、雲仙地区のGPS連続観測結果である。昨年7月から各辺とも伸びていたが、冬期にピークとなり、その後縮む傾向が見られる。

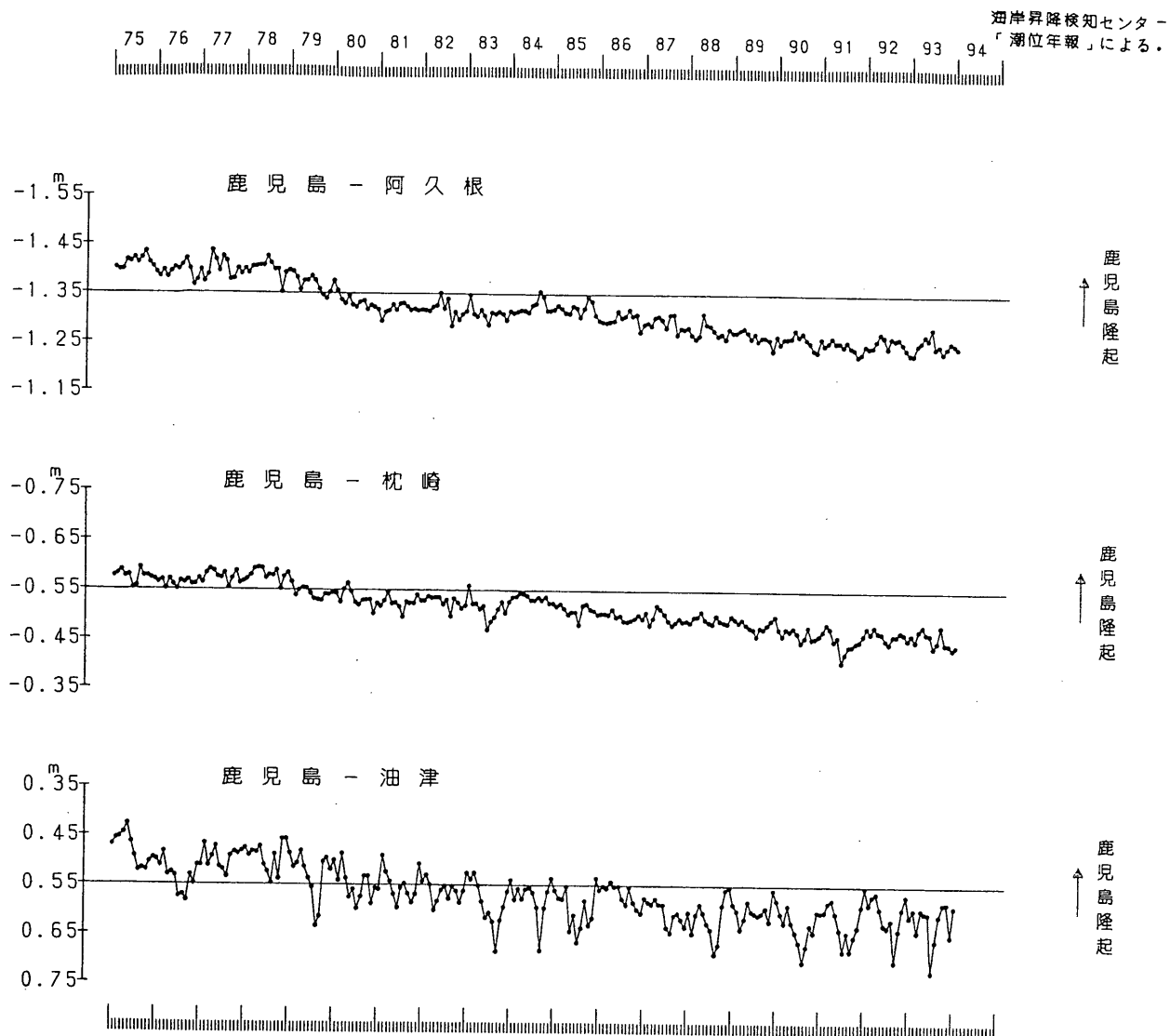
#### 参 考 文 献

- 1) 国土地理院：九州・沖縄地方の地殻変動，連絡会報，**47**(1992)，436-442
- 2) 国土地理院：九州地方の地殻変動，連絡会報，**48**(1992)，436-454
- 3) 国土地理院：九州地方の地殻変動，連絡会報，**49**(1993)，527-541
- 4) 国土地理院：九州地方の地殻変動，連絡会報，**50**(1993)，551-557
- 5) 国土地理院：九州地方の地殻変動，連絡会報，**51**(1994)，650-657



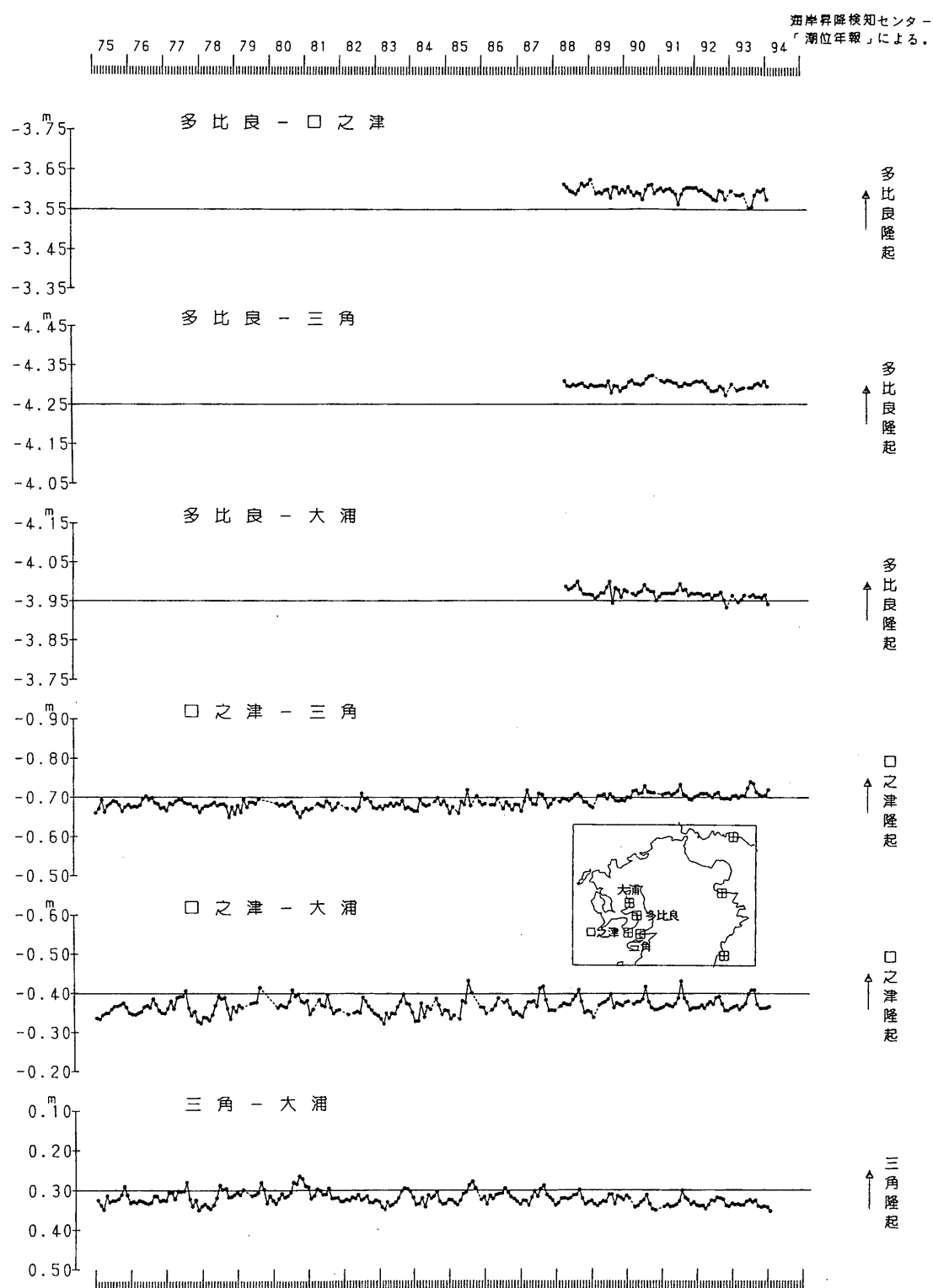
第1図 細島，大分，油津験潮場間の月平均潮位差

Fig.1 Differences in monthly mean sea levels between the Hosojima, Oita and Aburatsu tide stations.



第 2 図 鹿児島と阿久根，枕崎，油津験潮場間の月平均潮位差

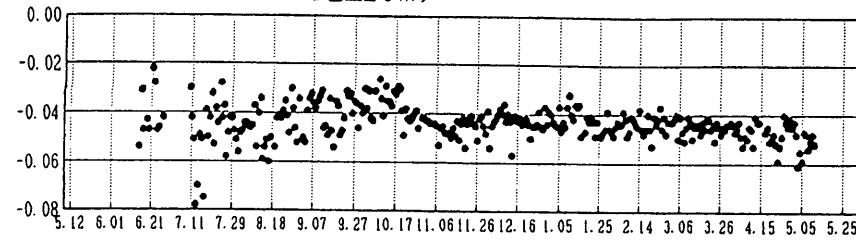
Fig.2 Differences in monthly mean sea levels between the Kagoshima, Akune, Makurazaki and Aburatsu tide stations.



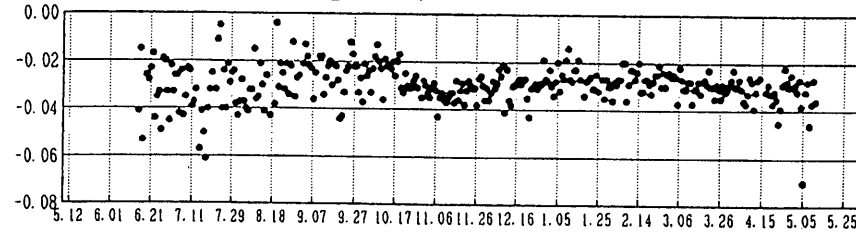
第3図 島原半島周辺の験潮場間の月平均潮位差

Fig.3 Differences in monthly mean sea levels between the pairs of tide stations in and around the Shimabara Peninsula.

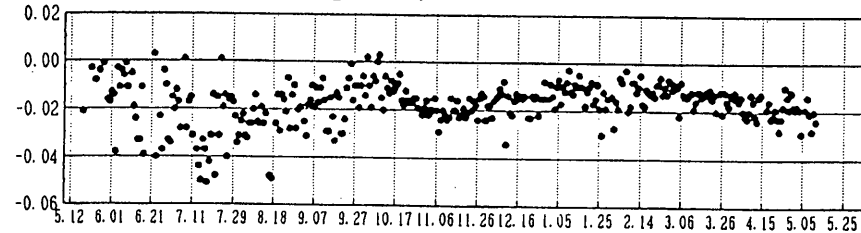
仁田峠-磯石(基準値 5240.200 : 1 目盛2 cm)



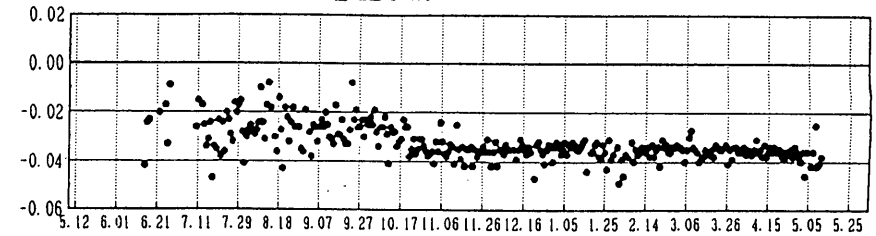
仁田峠-折橋(基準値 6519.000 : 1 目盛2 cm)



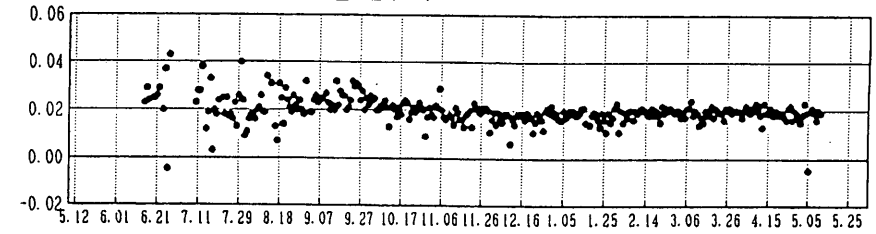
仁田峠-九大(基準値 7609.400 : 1 目盛2 cm)



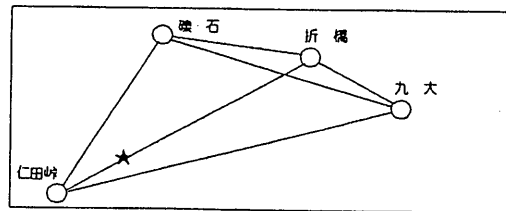
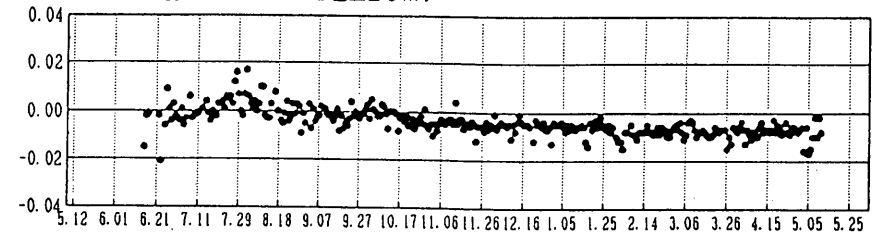
九大-磯石(基準値 5521.790 : 1 目盛2 cm)



磯石-折橋(基準値 3011.400 : 1 目盛2 cm)



九大-折橋(基準値 2629.100 : 1 目盛2 cm)



(最終観測 5月11日 5時 - 8時)

GPS受信機: 2波用受信機観測

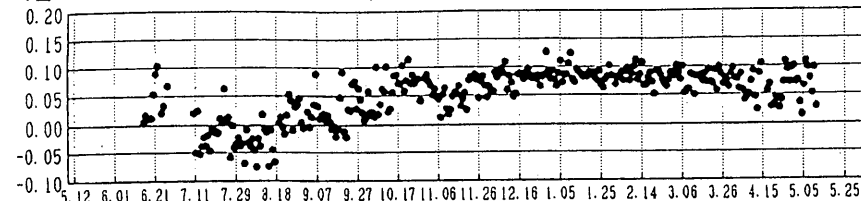
基線解析: 10月下旬より1点を固定し計算(FIX解採用)

第4図 雲仙岳周辺におけるGPSによる地殻変動連続観測(1): 辺長変化

Fig.4 Crustal movement monitoring by GPS around Unzendake (1): distance change.

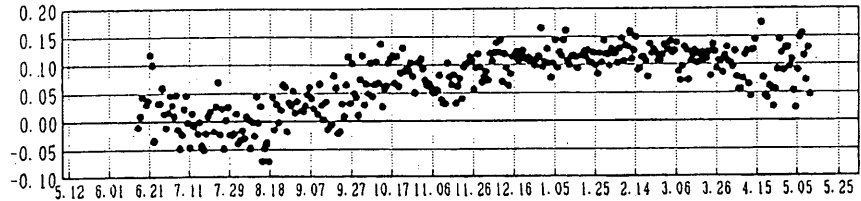
仁田峠-礫石(1目盛:5cm)

(基準値: 標高差 763.50m) 「仁田峠 UP ↑」



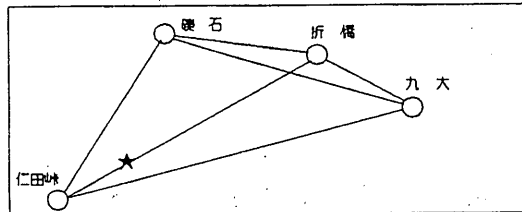
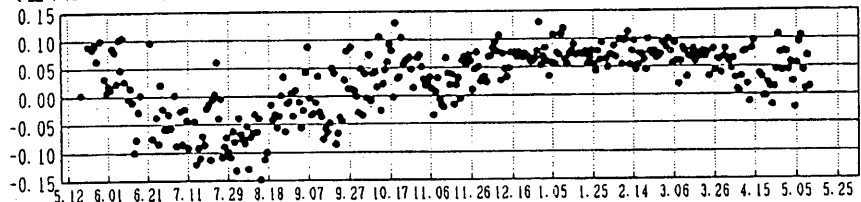
仁田峠-折橋(1目盛:5cm)

(基準値: 標高差 941.70m) 「仁田峠 UP ↑」



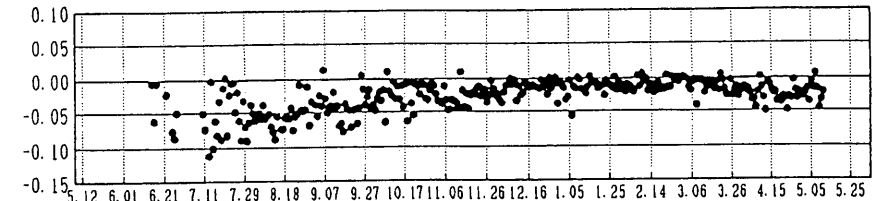
仁田峠-九大(1目盛:5cm)

(基準値: 標高差 1036.40m) 「仁田峠 UP ↑」



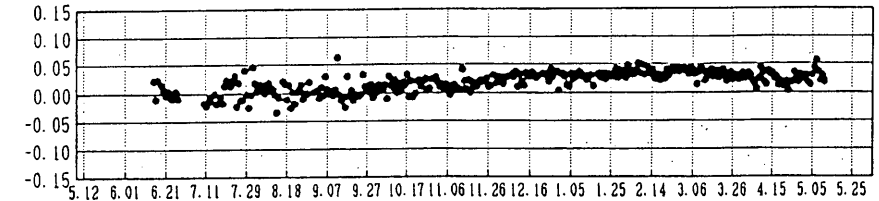
九大-礫石(1目盛:5cm)

(基準値: 標高差 272.90m) 「礫石 UP ↑」



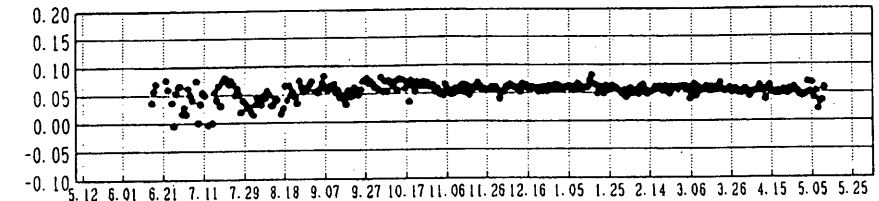
礫石-折橋(1目盛:5cm)

(基準値: 標高差 178.20m) 「礫石 UP ↑」



九大-折橋(1目盛:5cm)

(基準値: 標高差 94.60m) 「折橋 UP ↑」



(最終観測 5月11日 5時 - 8時)

GPS受信機: 2波用受信機観測

基線解析: 10月下旬より1点を固定し計算(FIX解採用)

第5図 雲仙岳周辺におけるGPSによる地殻変動連続観測(2): 比高変化

Fig.5 Crustal movement monitoring by GPS around Unzendake (2): height change.